

【レジメン】

day 1	②アバスチン 7.5mg/kg
day 1	⑤オキサリプラチン 130mg/m ²
day 1~14	ゼローダ(300) 1000mg/m ² /回 1日2回 朝・夕食後
day 15~21	休薬 上記を3週毎に繰り返す。

ゼローダの投与量について

体表面積	1回用量	1日用量
<1.36m ²	1200mg	2400mg/day
1.36~1.66m ²	1500mg	3000mg/day
1.66~1.96m ²	1800mg	3600mg/day
1.96m ² ≦	2100mg	4200mg/day

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド125mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。 ⑤開始60-90分前に内服。	
	<input type="checkbox"/> ② デキサート6mg+ アロキシバグ50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ③ アバスチン () mg+ 生食100mL	点滴	治療薬です。 ※BVの投与速度は下記参照	90・60・30分
	<input type="checkbox"/> ④ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑤ オキサリプラチン () mg+ 5%ブドウ糖液250mL	点滴	治療薬です。	120分
	<input type="checkbox"/> ⑥ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
ゼローダ内服開始、本日夕より14日間継続。				
day2 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
day3 (/)	<input type="checkbox"/> ① イメンド80mg 1カプセル	内服	吐き気予防薬です。	朝食後
day15 (/)	本日朝にてゼローダ内服終了、1週間休薬すること。			
day22 (/)	次コース開始。			

※アバスチンの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

【化学療法施行前に処方する薬剤】

・イメンドセット 1セット

(外来の場合：イメンド125mg 1Cは治療当日に院内処置伝、イメンド80mg 2Cは院外処方箋で対応)

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：メトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない
上記効果が不十分な場合

オランザピンOD錠5mg 1錠内服(1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：メトクロプラミド1A静注

コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド(注射・錠剤)とH2ブロッカー(注射)またはPPI(注射)は原則併用禁忌です。